

2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月3日

上場会社名 株式会社 大林組

上場取引所 東 福

コード番号 1802 URL <https://www.obayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 蓮輪 賢治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高田 佳明

TEL 03-5769-1701

四半期報告書提出予定日 2020年8月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	415,109	7.1	19,733	22.3	22,418	20.3	22,758	0.1
2020年3月期第1四半期	446,720	2.2	25,399	10.1	28,112	8.4	22,733	26.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 26,046百万円 (121.4%) 2020年3月期第1四半期 11,763百万円 (43.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	31.71	
2020年3月期第1四半期	31.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,218,662	864,665	37.6
2020年3月期	2,230,297	850,498	36.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 834,069百万円 2020年3月期 817,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		16.00		16.00	32.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		16.00		16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の配当予想につきましては、本日(2020年8月3日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,860,000	10.3	119,000	22.2	126,000	20.8	94,000	16.9	130.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の連結業績予想につきましては、[添付資料]2ページ及び本日(2020年8月3日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 大林プロパティズUK 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	721,509,646 株	2020年3月期	721,509,646 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,862,448 株	2020年3月期	3,861,933 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	717,647,471 株	2020年3月期1Q	717,637,218 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想に関する事項につきましては、[添付資料]2ページをご覧ください。
2. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 新型コロナウイルス感染症への対応について	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)における当社グループの連結業績につきましては、国内建築事業において前連結会計年度に複数の大型工事が竣工したことや当第1四半期連結累計期間は着工直後の工事が多く工事進捗に伴う売上計上が減少したことなどから、売上高は前年同四半期比約316億円(7.1%)減の約4,151億円となりました。これに伴い、営業利益は前年同四半期比約56億円(22.3%)減の約197億円、経常利益は前年同四半期比約56億円(20.3%)減の約224億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比約0.2億円(0.1%)増の約227億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末比約116億円(0.5%)減の約2兆2,186億円となりました。これは、「現金預金」が増加した一方で、工事代金債権(「受取手形・完成工事未収入金等」及び「電子記録債権」の合計)が減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比約258億円(1.9%)減の約1兆3,539億円となりました。これは、「短期借入金」や「長期借入金」などの有利子負債が増加した一方で、工事代金の支払に係る債務(「支払手形・工事未払金等」及び「電子記録債務」の合計)が減少したことなどによるものであり、有利子負債残高は前連結会計年度末比約378億円(15.2%)増の約2,864億円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比約141億円(1.7%)増の約8,646億円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い「利益剰余金」が増加したことなどによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は37.6%となり、前連結会計年度末より0.9ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月15日の2020年3月期決算発表時においては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を検証中であり、同時点でその影響額を合理的に算定することが困難であることから未定としておりました。その後、一部の海外工事を除きほぼ全ての工事が施工を再開し、それまでの工事中断等の影響額を合理的に算定することが可能となったことから、現時点で入手可能な情報や予測を基に算定した業績予想を以下のとおり公表いたします。

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期(予想) (A)	2,080,000	1,860,000	119,000	126,000	94,000
2020年3月期 (B)	2,240,001	2,073,043	152,871	159,005	113,093
増減額 (A-B)	△160,001	△213,043	△33,871	△33,005	△19,093
増減率 (%)	△7.1	△10.3	△22.2	△20.8	△16.9

なお、当業績予想において、前期実績と比較して売上高及び各利益項目が減少する主な理由は、国内建築事業において前連結会計年度に複数の大型工事が竣工したことや当連結会計年度は着工直後の工事が多く工事進捗に伴う売上計上が減少することに加え、海外建築事業において新型コロナウイルス感染拡大に伴う一部工事の中断が影響することによるものです。

(4) 新型コロナウイルス感染症への対応について

業界団体が策定したガイドラインに準拠して、本年5月に当社としての「新型コロナウイルス感染拡大予防のための基本行動プログラム」を策定するとともに、工事事務所版として、本年6月に「工事現場における新型コロナウイルス感染予防行動ガイドライン」を策定いたしました。

これらのプログラムに基づき、3密を回避する執務環境を整備するなど、新型コロナウイルス感染症への感染予防及び感染者発生時の影響を最小化するための対策を取りつつ、従前と同様の事業活動、成果達成等を維持していくこととしております。

また、不測の事態に備え、通常を上回る手元流動性を確保し国内外のグループ会社に対して機動的に資金供給できる体制を整えております。

当社グループは今後も関係者の身体、生命及び生活の安全の確保を最優先にその時々に応じた必要な安全対策を講じうえて、公共インフラの整備や民間事業者の事業継続のために必要な建設需要などに対し、真摯に取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	315,027	377,862
受取手形・完成工事未収入金等	773,694	660,751
電子記録債権	12,680	20,367
有価証券	7,103	6,410
販売用不動産	11,937	13,062
未成工事支出金	38,141	52,321
不動産事業支出金	15,171	17,617
PFI等たな卸資産	53,500	39,922
その他のたな卸資産	8,744	7,743
未収入金	75,125	69,853
その他	22,749	30,069
貸倒引当金	△118	△103
流動資産合計	1,333,757	1,295,878
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	120,866	118,307
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	55,274	53,734
土地	367,701	363,880
リース資産(純額)	236	237
建設仮勘定	28,112	33,827
有形固定資産合計	572,190	569,988
無形固定資産	6,367	6,156
投資その他の資産		
投資有価証券	290,719	300,076
長期貸付金	2,109	2,020
繰延税金資産	1,846	1,774
その他	23,496	42,959
貸倒引当金	△191	△192
投資その他の資産合計	317,981	346,639
固定資産合計	896,539	922,784
資産合計	2,230,297	2,218,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	536,863	453,700
電子記録債務	118,976	120,559
短期借入金	54,823	62,744
1年内返済予定のノンリコース借入金	7,631	7,667
リース債務	839	698
未払法人税等	27,209	2,391
未成工事受入金	109,216	142,089
預り金	121,611	134,250
完成工事補償引当金	4,313	4,256
工事損失引当金	12,694	12,282
独占禁止法関連損失引当金	4,145	4,145
その他	91,845	87,355
流動負債合計	1,090,170	1,032,142
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	78,104	109,579
ノンリコース借入金	67,993	66,448
リース債務	442	374
繰延税金負債	5,336	7,619
再評価に係る繰延税金負債	18,893	18,893
役員株式給付引当金	433	435
環境対策引当金	239	26
退職給付に係る負債	52,598	52,906
その他	25,584	25,570
固定負債合計	289,627	321,855
負債合計	1,379,798	1,353,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	57,752	57,752
資本剰余金	42,825	42,825
利益剰余金	587,012	596,633
自己株式	△2,121	△2,121
株主資本合計	685,469	695,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,775	111,274
繰延ヘッジ損益	6,837	7,832
土地再評価差額金	19,076	20,725
為替換算調整勘定	1,306	△1,208
退職給付に係る調整累計額	426	356
その他の包括利益累計額合計	132,422	138,979
非支配株主持分	32,606	30,596
純資産合計	850,498	864,665
負債純資産合計	2,230,297	2,218,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高		
完成工事高	420,292	393,066
不動産事業等売上高	26,427	22,042
売上高合計	446,720	415,109
売上原価		
完成工事原価	376,570	354,563
不動産事業等売上原価	20,236	16,069
売上原価合計	396,807	370,632
売上総利益		
完成工事総利益	43,721	38,503
不動産事業等総利益	6,190	5,973
売上総利益合計	49,912	44,477
販売費及び一般管理費	24,513	24,743
営業利益	25,399	19,733
営業外収益		
受取利息	293	238
受取配当金	3,080	2,709
その他	548	278
営業外収益合計	3,922	3,226
営業外費用		
支払利息	461	452
為替差損	630	—
その他	118	89
営業外費用合計	1,210	541
経常利益	28,112	22,418
特別利益		
固定資産売却益	86	1,305
投資有価証券売却益	780	1,257
独占禁止法関連損失引当金戻入額	2,096	—
その他	176	0
特別利益合計	3,140	2,563
特別損失	1,163	97
税金等調整前四半期純利益	30,089	24,884
法人税、住民税及び事業税	10,124	2,062
法人税等調整額	△3,298	△466
法人税等合計	6,826	1,596
四半期純利益	23,263	23,287
非支配株主に帰属する四半期純利益	529	529
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,733	22,758

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	23,263	23,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,486	6,515
繰延ヘッジ損益	55	738
為替換算調整勘定	1,103	△4,680
退職給付に係る調整額	△167	△68
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	253
その他の包括利益合計	△11,499	2,758
四半期包括利益	11,763	26,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,708	27,666
非支配株主に係る四半期包括利益	1,055	△1,619

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計
	国内 建築	海外 建築	国内 土木	海外 土木	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	240,863	91,160	74,793	13,475	11,707	431,999	14,720	446,720
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,830	455	4,879	—	262	18,427	1,897	20,325
セグメント売上高	253,694	91,615	79,672	13,475	11,969	450,427	16,617	467,045
営業利益又は営業損失								
外部顧客売上高に対応する 営業利益又は営業損失(△)	15,132	1,974	4,261	△136	3,131	24,363	1,036	25,399
(注2)								
セグメント間の 内部営業利益又は振替高	378	△1	△14	△0	△29	332	△20	312
セグメント利益又は損失(△)	15,510	1,973	4,246	△136	3,102	24,696	1,015	25,711

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PFI事業、再生可能エネルギー事業、金融事業及びゴルフ場事業等を含んでいる。

2 「外部顧客売上高に対応する営業利益又は営業損失」は、「セグメント利益又は損失」から「セグメント間の内部営業利益又は振替高」を控除した金額であり、「外部顧客売上高に対応する営業利益又は営業損失」の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計
	国内 建築	海外 建築	国内 土木	海外 土木	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	214,644	91,722	72,557	14,143	8,950	402,017	13,092	415,109
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,322	4	4,015	—	244	12,586	1,932	14,518
セグメント売上高	222,967	91,726	76,572	14,143	9,194	414,604	15,024	429,628
営業利益又は営業損失								
外部顧客売上高に対応する 営業利益又は営業損失(△)	8,260	2,041	5,835	△529	3,213	18,821	912	19,733
(注2)								
セグメント間の 内部営業利益又は振替高	△595	—	△30	—	△29	△655	△20	△676
セグメント利益又は損失(△)	7,664	2,041	5,804	△529	3,184	18,165	891	19,057

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PFI事業、再生可能エネルギー事業、金融事業及びゴルフ場事業等を含んでいる。

2 「外部顧客売上高に対応する営業利益又は営業損失」は、「セグメント利益又は損失」から「セグメント間の内部営業利益又は振替高」を控除した金額であり、「外部顧客売上高に対応する営業利益又は営業損失」の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし。